



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年4月28日朝刊



浜松市の萩丘小（中区）と浜松中央署、常葉大浜松（北区）は28日、防犯ウォーキングアプリ「歩いてマイマイ」を使って通学路を点検するプロジェクトに県内で初めて取り組んだ。今後は地域住民の協力を受けながら、主に児童たちがタブレット端末を使って防犯マップ作成を進める。

防犯ウォーキングアプリは、起動すると現在の地図が表示され、不審者が出没しやすいと感じる場所や、子どもが逃げ込みやすい施設などを利用者が写真撮影して登録する。利用者同士ですぐに情報共有もできる。香川大が開発した。

危険箇所、避難場所を写真登録

萩丘小や浜松中央署 防犯アプリで通学路点検

防犯ウォーキングアプリを活用して、通学路内で危険な箇所などを探る参加者。27日午後、浜松市中区の萩丘小周辺

これまででも市内の小中学校などで防犯マップを作成してきたが、完成後の更新や住民間の情報のやりとりに課題があった。アプリを使えば保護者らが簡単にマップを共有できるほか、不審者情報などに応じて随時更新し、有効性を向上させることができる。

県警の防犯対策に協力する同大健康プロデュース学部の木村佐枝子教授から情報を得た同署の川村法彦生活安全課長が中心となり、プロジェクトを企画した。初日は約30人が交通量の多い道路の横断歩道や細い路地などの通学路を実際に歩き、危険な場所をアプリに記録した。今後、児童が5コースに分かれて通学路を確認し、来年1月末までに防犯マップを完成させる。

萩丘小の加藤志緒理校長は「児童が主体的に防犯について考える機会になる。自分の安全を確保する力につながれば」と期待した。

（浜松総局・金沢元気）

①記事で紹介している「防犯ウォーキングアプリ」の名前は何かといえますか。

（ 「歩いてマイマイ」 ）

②この「防犯ウォーキングアプリ」はどのようにして使いますか。記事中のそれが書かれているところに線を引きましょう。

③この「防犯ウォーキングアプリ」で、今まで使っていた「防犯マップ」の課題を解決できる点は何ですか。

（ 「防犯マップ」は完成後の更新や住民間の情報のやりとりに課題があったが、このアプリを使えば保護者らが簡単にマップを共有できるほか、不審者情報などに応じて随時更新し、有効性を向上させることができる。 ）

④あなたがこの「防犯ウォーキングアプリ」を使うとしたら、特にどんなときに利用したいですか。30字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 交通量の多い道路の横断歩道や細い路地などを歩く時。(25字)
 不審者が出没しやすく子どもが逃げ込む場所が少ない道を歩く時。(30字)
 どこで不審者が多く出没しているかを調べる時。(22字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、保護者、教員／特別活動、生徒指導、総合)